【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】令和4年3月10日(2022.3.10)

【国際公開番号】WO2021/033251
【出願番号】特願2021-541372(P2021-541372)
【国際特許分類】
H04N 5/232(2006.01)
H04N 5/225(2006.01)
G06T 7/20(2017.01)
【ＦＩ】
H04N 5/232290
H04N 5/225300
H04N 5/225800
G06T 7/20

【手続補正書】
【提出日】令和3年1月12日(2021.1.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
同期的なスキャンによって撮像された画像の１または複数のピクセルにおける光の強度変化に応じて生成されたイベント信号によって検出される、被写体のエッジ部分で発生する光の強度変化に基づいて、前記画像において被写体に第１の動きが発生している第１の領域と、被写体に前記第１の動きとは異なる第２の動きが発生しているか、または被写体が実質的に動いていない第２の領域とを特定する領域特定部と、
前記画像において、前記第１の領域および前記第２の領域に対してそれぞれ異なる画像処理を実行する画像処理郎と
を備える画像処理装置。
【請求項２】
前記画像は、動画像を構成する複数のフレーム画像であり、
前記領域特定部は、前記複数のフレーム画像のそれぞれにおいて前記第１の領域および前記第２の領域、ならびに少なくとも前記第１の領域における被写体の動き方向を特定し、
前記画像処理部は、前記動き方向に基づいて前記複数のフレーム画像において前記第１の領域および前記第２の領域に対する画像処理を継続的に実行する、請求項１に記載の画像処理装置。
【請求項３】
前記画像処理部は、前記画像において少なくとも前記第１の領域をマーキングする、請求項１または請求項２に記載の画像処理装置。
【請求項４】
前記領域特定部は、被写体に前記第２の動きが発生している前記第２の領域を特定し、
前記画像処理部は、前記画像において前記第１の領域および前記第２の領域をそれぞれ異なる態様でマーキングする、請求項３に記載の画像処理装置。
【請求項５】
前記画像処理部は、前記画像において前記第２の領域をマスクする、請求項１から請求項３のいずれか１項に記載の画像処理装置。

【請求項６】
前記画像は、動画像を構成する複数のフレーム画像であり、
前記領域特定部は、前記複数のフレーム画像のそれぞれにおいて前記第１の領域および被写体が実質的に動いていない前記第２の領域を特定し、
前記画像処理部は、前記複数のフレーム画像のそれぞれにおいて前記第１の領域を前後のフレーム画像で特定された前記第２の領域を用いて上書きする、請求項１に記載の画像処理装置。
【請求項７】
同期的なスキャンによって撮像された画像の１または複数のピクセルにおける光の強度変化に応じて生成されたイベント信号によって検出される、被写体のエッジ部分で発生する光の強度変化に基づいて、前記画像において被写体に第１の動きが発生している第１の領域と、被写体に前記第１の動きとは異なる第２の動きが発生しているか、または被写体が実質的に動いていない第２の領域とを特定するステップと、
前記画像において、前記第１の領域および前記第２の領域に対してそれぞれ異なる画像処理を実行するステップと
を含む画像処理方法。
【請求項８】
同期的なスキャンによって撮像された画像の１または複数のピクセルにおける光の強度変化に応じて生成されたイベント信号によって検出される、被写体のエッジ部分で発生する光の強度変化に基づいて、前記画像において被写体に第１の動きが発生している第１の領域と、被写体に前記第１の動きとは異なる第２の動きが発生しているか、または被写体が実質的に動いていない第２の領域とを特定する機能と、
前記画像において、前記第１の領域および前記第２の領域に対してそれぞれ異なる画像処理を実行する機能と
をコンピュータに実現させるためのプログラム。